

飼料用とうもろこしの安定生産の推進

～自給飼料の安定生産に向けた取り組み～

釧路中西部支所地域係 釧路市音別町

◇ 活動のねらい

釧路市音別町のTMRセンター(合)フィードセンタービーナス(構成員7戸)の現状



図1 飼料用とうもろこしの収量の推移

【目標】

飼料用とうもろこしの安定生産に向けた取り組みを実施し、自給飼料確保

1 活動の経過

報告会や研修会の実施



イヌクイモ防除やシカ食害対策を強化

| 時期 | 主な内容 |
|---------|--|
| R2年 11月 | R2年イヌクイモ防除に向けた除草剤の茎葉散布試験の結果報告会 |
| R3年 2月 | イヌクイモ防除に向けた除草剤の茎葉散布面積拡大および電気柵設置面積拡大について提案 シカ食害対策としてのソルガムのは種提案 |
| 3月 | 電気柵、ソルガムについて研修会 |
| 5月 | ソルガムは種 |
| 6月 | イヌクイモ防除に向けた除草剤の茎葉散布立ち合い |
| 随時 | ソルガムの生育調査 イヌクイモ防除の経過観察 |
| 9月 | ソルガム収量調査 |
| 10月 | ソルガム収穫 |
| 12月 | ソルガムによる鹿食害防止の結果報告会 次年度の計画検討会 |

前年度の試験結果等を踏まえ、研修会や現地支援を通して次のことを提案した。

- (1) イヌクイモ防除に向けた除草剤の茎葉散布面積の拡大
- (2) シカ食害防止用の電気柵設置面積の拡大
- (3) ソルガムによるシカ食害防止

2 活動の成果

(雑草防除・シカ食害防止対策実施 0項目 → 3項目 → 2項目)

(1) イヌクイモ防除に向けた除草剤の茎葉散布面積の拡大

除草剤の茎葉散布面積は、38.6ha(R2年)から64.7ha(R3年)へ1.7倍に拡大した。



図2 除草剤の茎葉散布面積の推移

(2) シカ食害防止用の電気柵設置面積の拡大

電気柵設置面積は、18.6ha(R2年)から54.4ha(R3年)へ2.9倍に拡大した。



図3 電気柵の設置面積の推移

(3) ソルガムによるシカ食害防止

飼料用とうもろこしのほ場外周にソルガムをは種し、シカ食害防止を試みた。

下図の要因から、ソルガムによるシカ食害防止は困難なことが判明した。

【シカ食害を防止できなかった要因】

①雑草が繁茂



②コーンより初期生育が遅い



3 今後の対応

今後も継続的に自給飼料の安定生産に向けて支援し、収量の向上を目指す。